

令和2年1月24日

学校法人 榎園学園
鹿児島環境・情報専門学校
校長 榎園克寿 殿

学校関係者評価委員会

評価委員 立山 龍



評価委員 柳田 聖美



学校関係者評価 報告書

令和元年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

記

- 1 評価日時 令和2年1月24日（金）午前9時30分～12時
- 2 評価場所 鹿児島市田上3丁目4-8
鹿児島環境・情報専門学校
- 3 評価内容
 - 1 学校内容・学生状況
 - (1) 国家試験への合格者を始め諸資格を取得する学生が多く出てきていることは、情報・環境の大切な現代社会ではとても大切なことであり、そのことが本校の「魅力ある学校づくり」に生かされていると考える。
 - (2) 国家試験の合格者が増えている。すばらしい事である。特別登校の教室の設置はとても良い。（生徒募集時にオフレコで高校の先生に話してみても良い。）
 - 2 授業実施状況、その他
 - (1) 基礎学力を身につけさせる授業の取り組み、個別化を進めながら的確な授業展開がなされている。また、情報処理の授業にしても具体的な資料を基に、ていねいな授業展開がなされ理解が深められている。パンフレット制作では学生一人一人の生き生きとした晴れがましい姿が印象的だった。将来への希望が生かされている。
 - (2) パンフレット制作実習等の目新しいものへの導入はとても良い。社会人でのプロモーション等の仕事に役立つ。
 - 3 自己評価・学生アンケート
 - (1) 毎年継続的に学生アンケート調査、教職員自己評価が実施され、それに基づいて改善策に取り組まれていることと考える。学校長の評価についてのコメントは、職員の意欲向上につながる大切なことである。
 - (2) 先生方の当校へのベクトルが一致して、頑張っていたいというようで、実に嬉しい限りです。
 - 4 全般、総評
 - (1) 諸国家資格を多く取得している学生が本校で学び就職している姿は、本校の「魅力ある学校づくり」に生かされている。学生が多く入学してきていることにより、職員の方々の励みにもなり学校経営の充実にもさらなる期待が大きくなると考える。
 - (2) 経営的に昨年より良い方向に向いているように感じられた。無償化の制度がこれを加速してくれることを期待したい。入り口に応じて出口もうまく行っているようだ。かなりの就職口があるようだ。